

フィットラベル 入稿 手順書

初版発行日：2021/07/01

最終更新日：2021/07/01

1 : Illustrator ベクター図形編

Adobe Creative Suite 6 (CS6) / Illustrator CS6 版

1：はじめに

この手順書は、弊社への入稿データを作成するための手順書です。
弊社バリアブルデザインのフィットラベルが対象となります。

なお文中の、各社正式名称やブランド、商標などについては、省略表記させていただきます。
ご利用の環境、OS・アプリケーションの設定等で画像が実際の画面と異なる場合があります。
画像は Windows10 Pro (20H2) / Illustrator CS6 で作成されています。
細心の注意を払い手順書を作成しておりますが、なんらかの損害が生じた場合には免責とさせていただきます。

目次

内容

1：はじめに	1
目次.....	1
2：出稿形式	2
1) この章の読み方	2
2) 出力形式.....	2
3：Illustrator の準備と基本操作	4
1) テンプレート（雛形）ファイル.....	4
2) レイヤーとレイヤーパネル	5
2) 背景レイヤーの設定.....	9
4：印刷レイヤーの編集	10
5：カットレイヤーの編集.....	24
6：入稿方法	26

2：出稿形式

1) この章の読み方

Illustrator を利用し、用語等を理解されている場合、以下の設定で出稿下さい。
出稿方法は、後述いたします。

また、Illustrator や、データ用語に詳しくない方は、次章以降の手順に従い作成してください。

<<注意>>

画像やフォントの著作権に関しては、出稿者の責任にてお願いいたします。
OS 等に標準で搭載されているフォントでも、利用できないものがあります。

2) 出力形式

(1) レイヤーの説明

- ・印刷 レイヤー
フィットラベルに印刷する図形・文字を描画するレイヤーです。
- ・カット レイヤー
フィットラベルの切込み線（シールの外枠）を描画するレイヤーです。
- ・背景 レイヤー
パスなどの抜きを確認するレイヤーです。
フィットラベルの出力には影響を及ぼしません。
- ・その他のレイヤー
フィットラベルを作成するうえでの必要なレイヤーです。
レイヤー名、レイヤーの構成、パス・オブジェクト等の変更はしないで下さい。

(2) レイヤーの設定

i.印刷レイヤー

対象	設定	パラメータ名	値	備考
レイヤー	レイヤー	不透明度	100~30	不透明度を低くすると、印刷網点を粗くすることができます（素材が見える）
オブジェクト	文字	アウトライン	アウトライン化	アウトライン化されていない場合異なるフォントになる可能性があります
	図形	アウトライン	アウトライン化	ラスタ図形は使用不可
	色	CMY	各 0 (白)	
		K	100(黒)	
パス	線	削除		

ii.カットレイヤー

対象	設定	パラメータ名	値	備考
オブジェクト	図形	アウトライン	アウトライン化	ラベル内容に 2mm※の余白を持たせることを推奨します ※カットずれの最大許容範囲

				カット面は角にアール加工を推奨します ※はがれにくさを強くするため
	色	CMY	各 0 (白)	
		K	100 (黒)	
	パス	線幅	0.1mm	

3 : Illustrator の準備と基本操作

1) テンプレート (雛形) ファイル

(1) テンプレート (雛形) とは

フィットラベルを発注する際に、提出する入稿データを作成するためのファイルです。
このテンプレートを利用せず、もしくは設定を変更した場合、作成できない場合があります。

なお、Illustrator をお持ちでない場合、他の手順書を参照してください。

(2) テンプレート (雛形) の入手

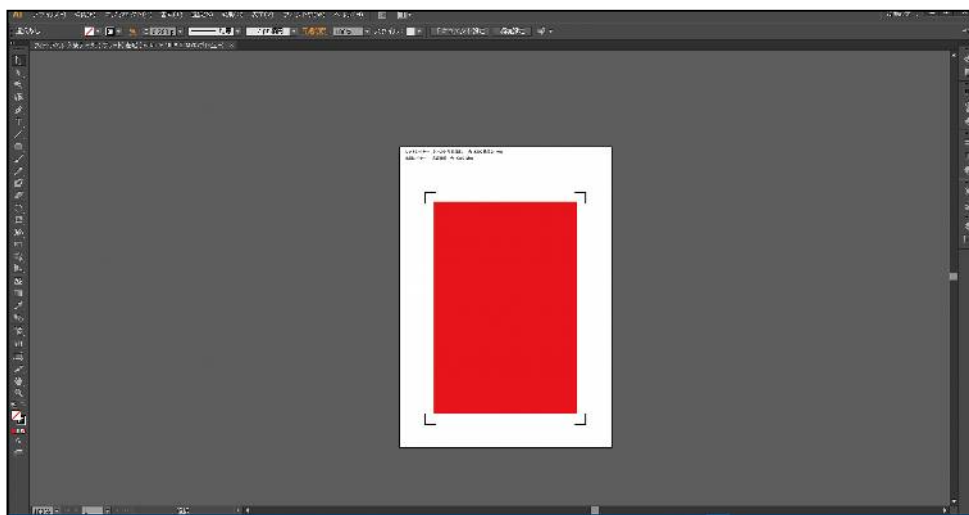
EC サイトより、ダウンロード下さい。

(3) テンプレート (雛形) のサイズ

テンプレート (雛形) の印刷サイズは A5 サイズ(幅 148mm、高さ 210mm)です。
ラベルの作成範囲 (切込み範囲も含む) は葉書サイズ(幅 100mm、高さ 148mm)です。

(4) テンプレート (雛形) ファイルを開く

入手したテンプレートファイル(拡張子 ai)を OS 等から開きます。



2) レイヤーとレイヤーパネル

(1) レイヤーとは

「レイヤー」とは、作業領域を層にしたものになります。

透過処理を行う事で、レイヤーに施した処理などが、他のレイヤーに影響を及ぼさない効果もあります。

また、入れ子構造も可能で、該当のサブレイヤー（子）のみ、サブレイヤー以下の全レイヤーを作業することが出来ます。

フィットラベル入稿用のテンプレートでは、主に3つに分類されます。

- ・システムレイヤー： 弊社で製作する際に利用する情報が入っています。変更してはいけません。
- ・カットレイヤー： ラベルの切り口を指定するレイヤーです。
- ・印刷レイヤー： 印刷する文字・図などを描画するレイヤーです。

「レイヤーパネル」とは、レイヤーの制御を行うパネル（サブウィンドウ）を指します。

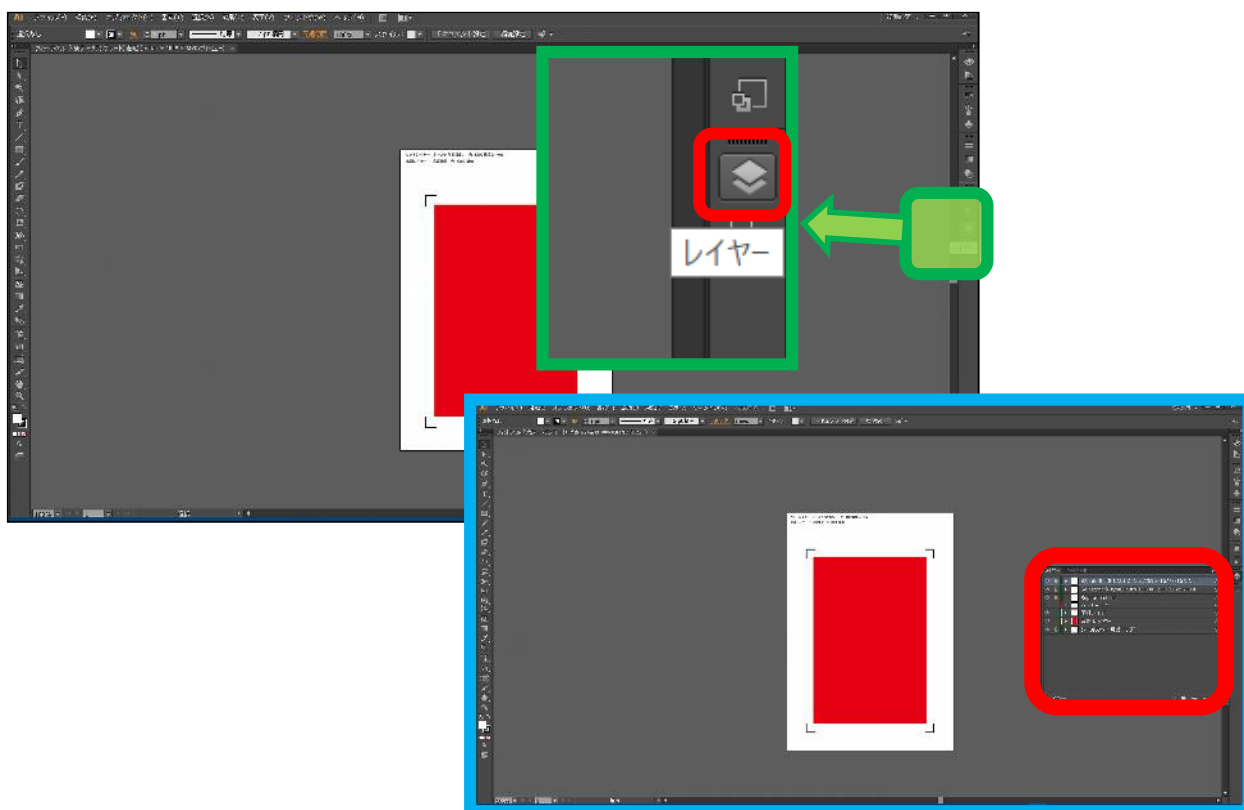
また、「レイヤーパネル」では、パス（オブジェクト）の管理も行えます。

(2) レイヤーパネルの表示 / 非表示

i.表示

画面右[レイヤー]アイコンをクリックすると、レイヤーパネルが表示されます。

※ [F7] キー、もしくは [ウィンドウ(W)] メニュー ⇒ [レイヤー] でも代用可能です。



レイヤーパネルが表示されました

ii.非表示

表示状態で、表示と同じ操作もしくは、一部の他のパネルが表示される際に非表示になります。

(3) レイヤーの選択

作業するレイヤーを選択します。

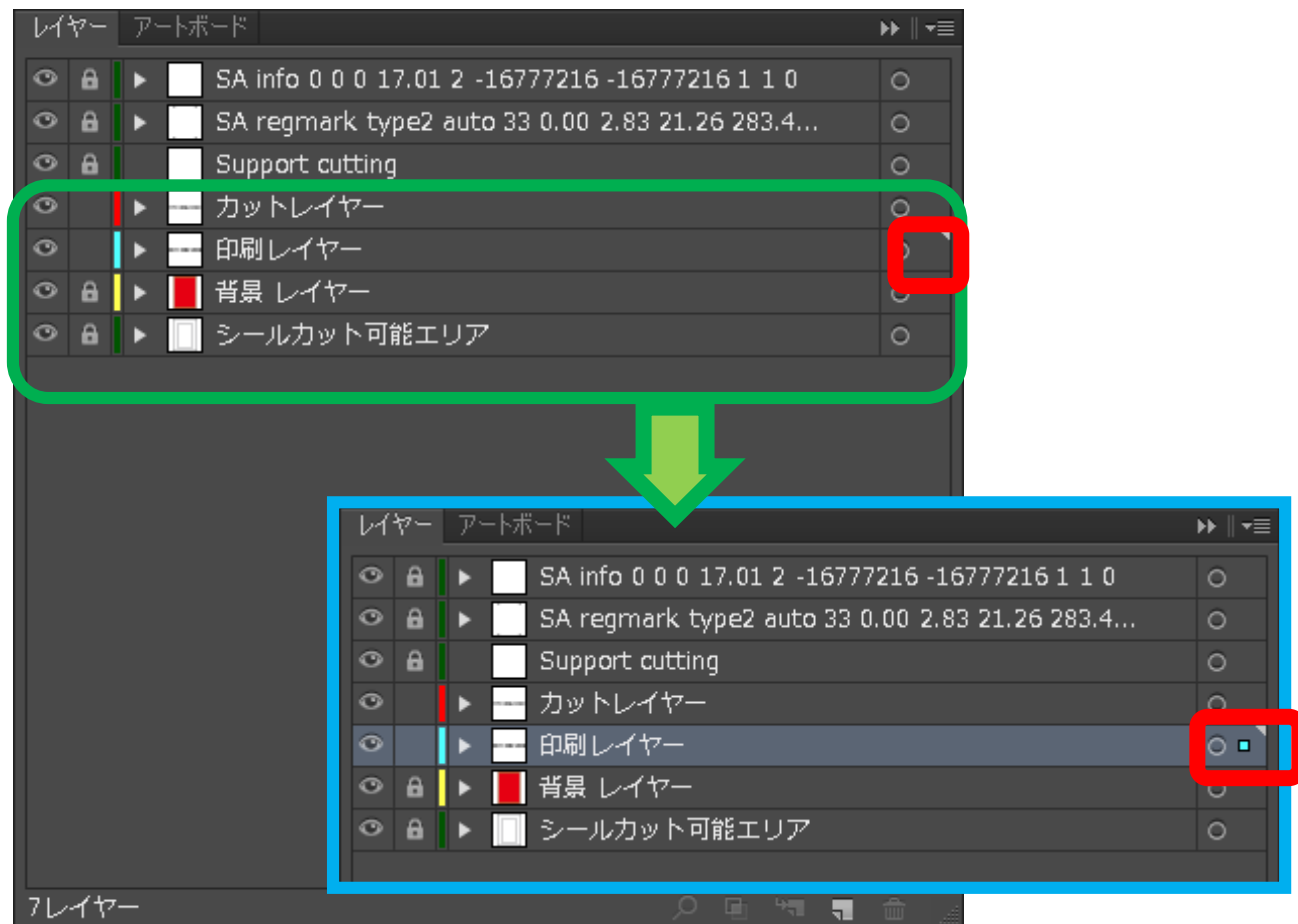
i. レイヤーの選択

ここでは、例として「印刷レイヤー」を選択します。

該当レイヤーの右側の欄をクリックすると、レイヤーが選択されます（色が付きます）。

レイヤーを選択すると、選択されたレイヤー欄の色が変化します。

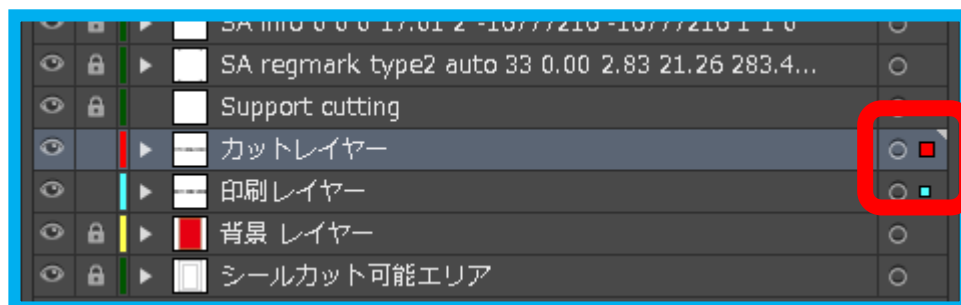
この選択状態で、メイン画面での作業がレイヤーに反映されます。



ii. 複数レイヤーの選択

[Shift] キーを押しながら、他のレイヤーを選択すると、複数のレイヤー（パス）を同時に選択できます。

※ 「カットレイヤー」と「印刷レイヤー」を両方選択した状態。

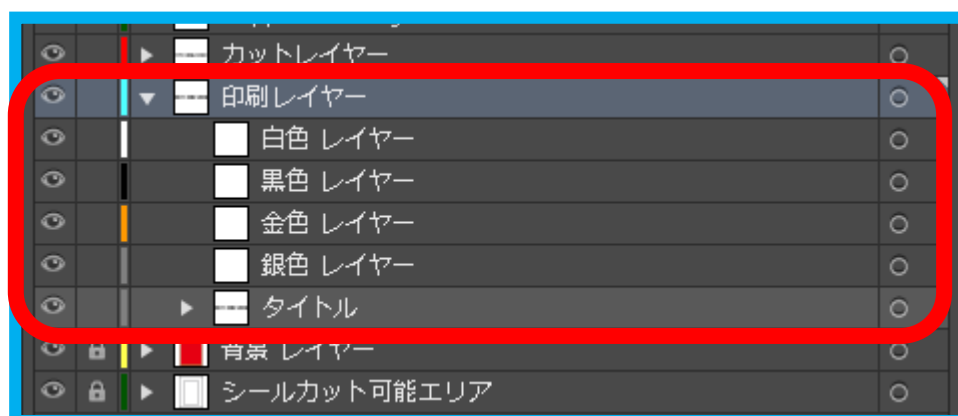
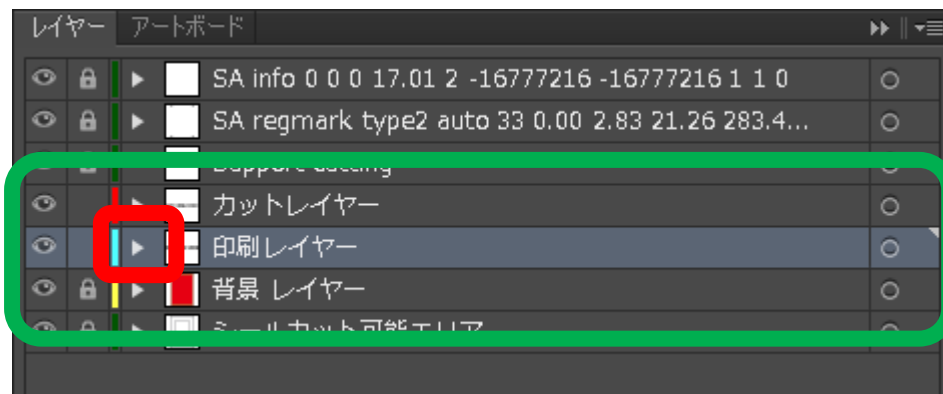


(4) レイヤーの展開 (内容一覧)

作業するレイヤーを選択します。

[右三角] ボタンをクリックすると、そのレイヤー内に含まれるレイヤーやオブジェクトの一覧が表示されます。
「オブジェクト」・「パス」の両単語は、次項にて説明します。

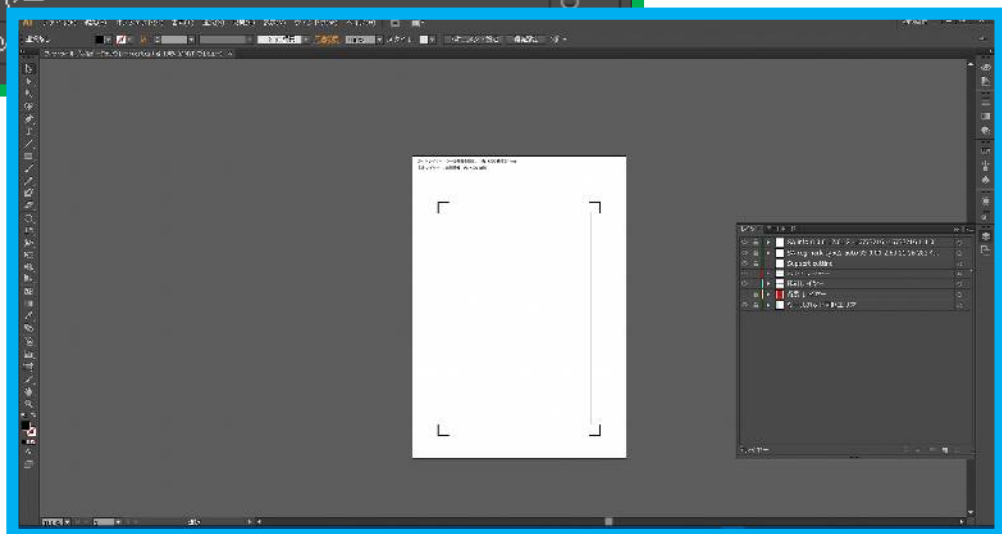
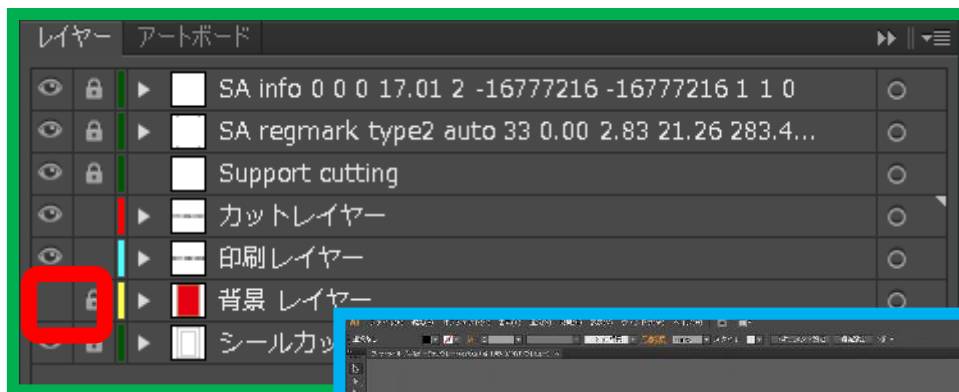
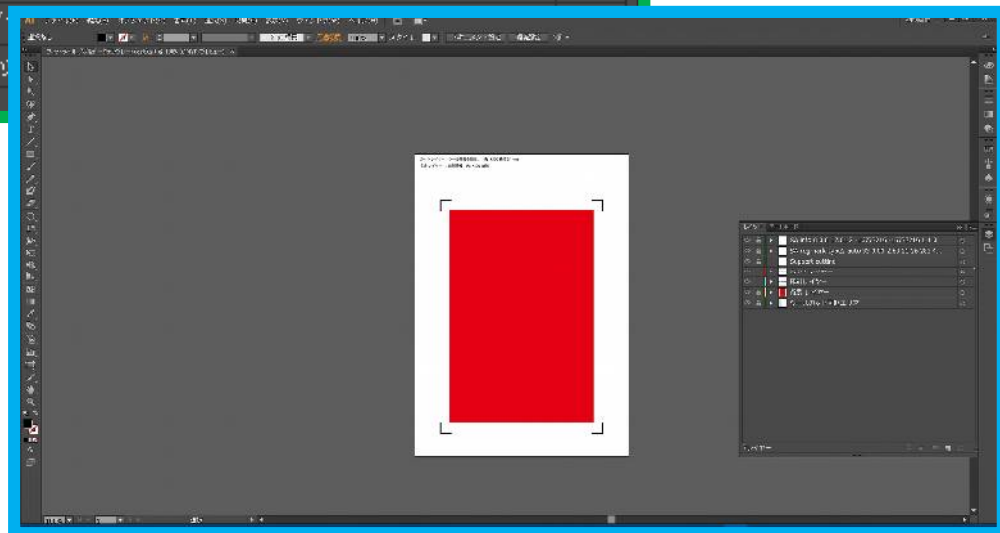
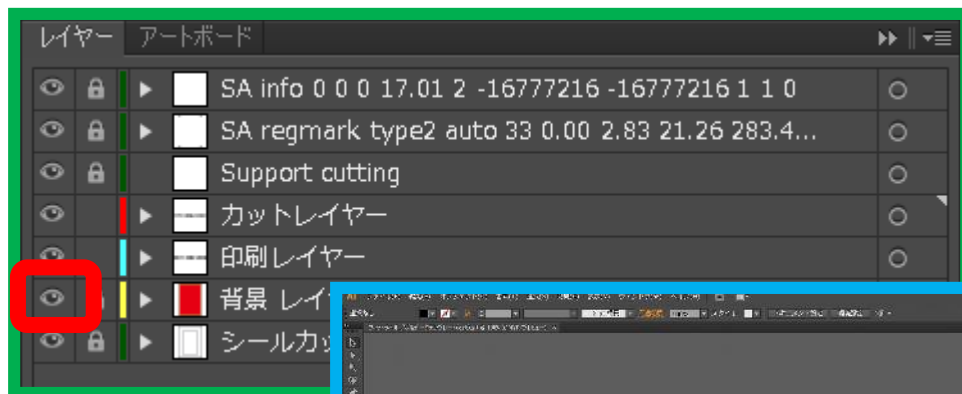
※ 「印刷レイヤー」内の「サブレイヤー」・「タイトル」が表示されました。



(5) レイヤーの可視 (表示・非表示)

レイヤーウィンドウの [目のアイコン] をクリックする事で、レイヤー (及オブジェクト) の可視を変更できます。

[目のアイコン] が表示されている場合、レイヤーが表示されます (結果は右下、青枠)



3) パスとパスファインダーパネル

(1) パスとは

「パス」とは、直線もしくは曲線の組み合わせでグループ化されているオブジェクトです。
「オブジェクト」は、「パス」の他に、「文字 (文字列)」なども含まれます。

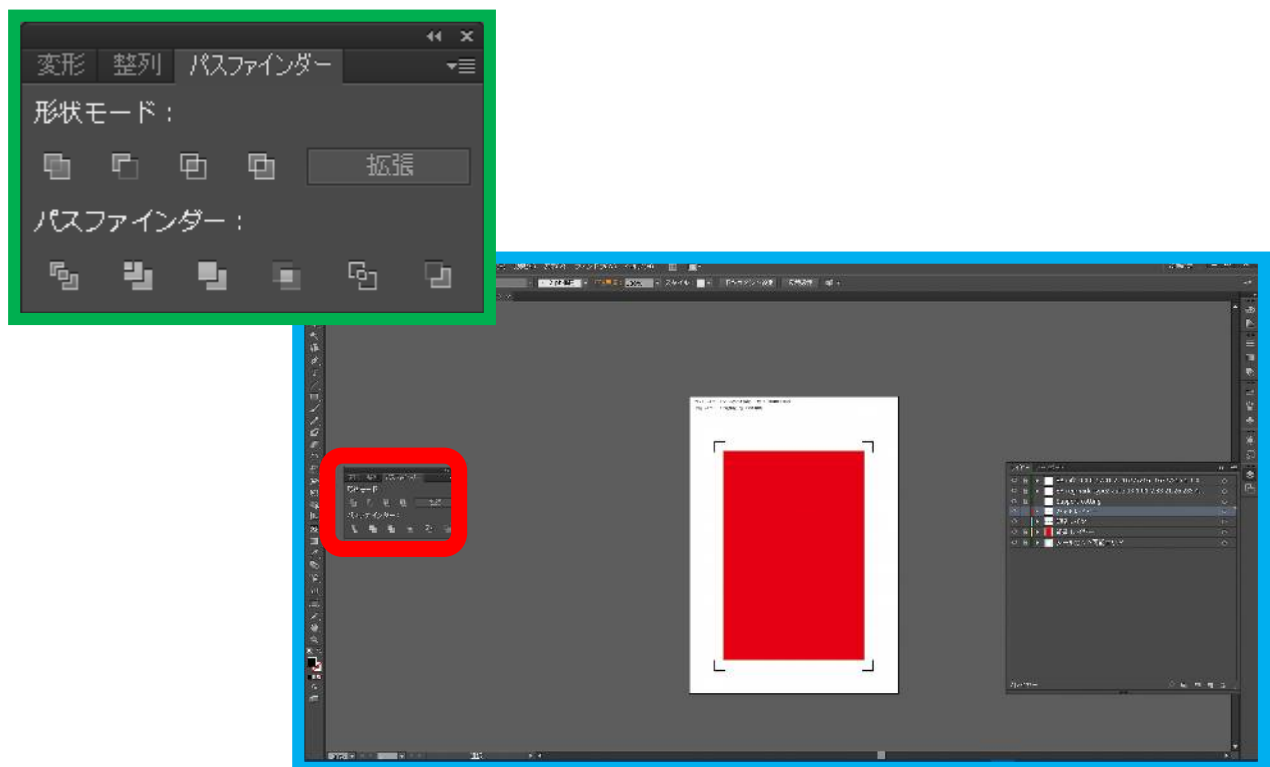
「パスファインダーパネル」は、パスの組み合わせ (この手順書では、中抜きで利用します) を行うパネルです。

(2) パスファインダーパネルの表示 / 非表示

i.表示

[ウィンドウ(W)] メニュー ⇒ [パスファインダー] をクリックすると、パスファインダーパネルが表示されます。

※ [Ctrl] と [Shift] キーを押しながら [F9] キーでも代用可能です。



パスファインダーパネルが表示されました

ii.非表示

表示状態で、以下の行動で非表示になります。

- ・表示と同じ操作
- ・一部の他のパネルが表示された
- ・パネル右上の[X] アイコンのクリック

4：印刷レイヤーの編集

1) はじめに

この「印刷レイヤー」が、フィットラベルの印刷部分に該当します。
細かいテクニックなどは、各種書籍やネット上の情報などを参考にしてください。

※補足項目

・サブレイヤーの利用も可能です。

<<注意事項>>

- ・必ず、「印刷レイヤーの確定」作業を行ってください。
- ・印刷のずれが生じる可能性があります。他の色と 1mm 程度の差を開ける事を推奨します。
- ・重ね印刷は対象外です。必ず、全てのレイヤーを表示した時に、隠れる部分がない事を確認してください。

2) 印刷レイヤーの選択

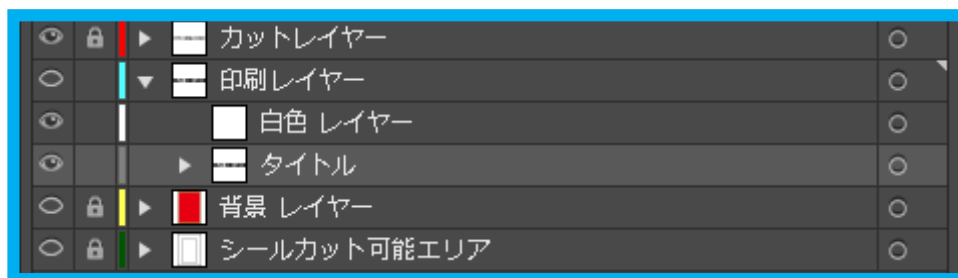
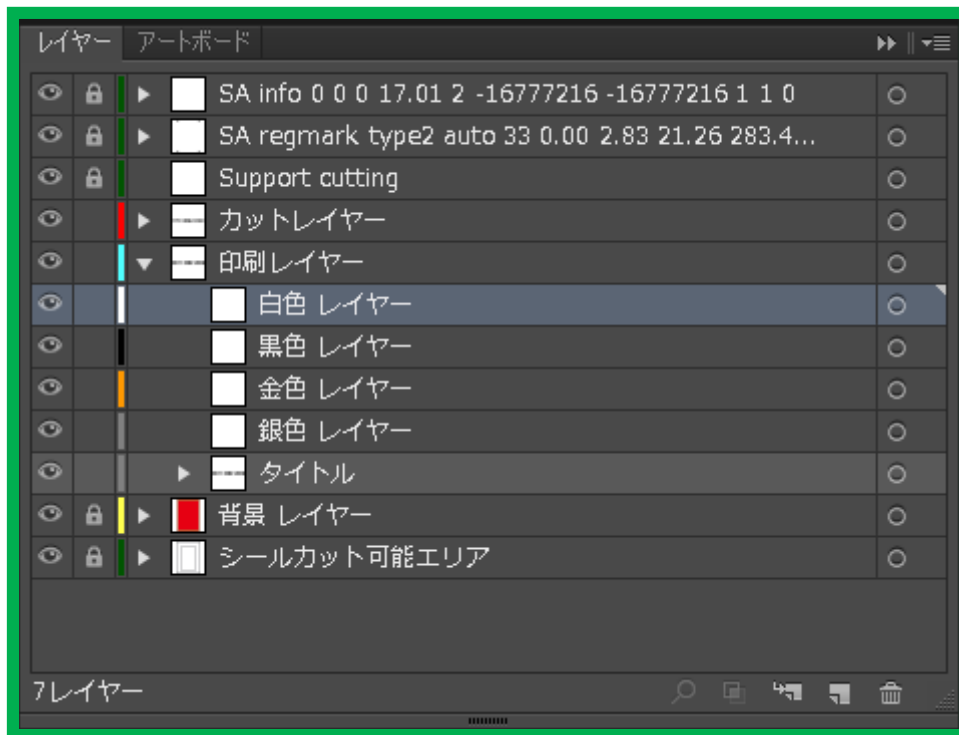
レイヤーパネルから、作業するレイヤーを選択します。

混色印刷を行う場合、レイヤーをその都度変更・確認して作業を行ってください。

※画面は 4 色混合のテンプレートです。

単色の場合、該当する色のレイヤーしかありません。

※この手順書では、4 色混合テンプレートの「白色レイヤー」にて説明します。

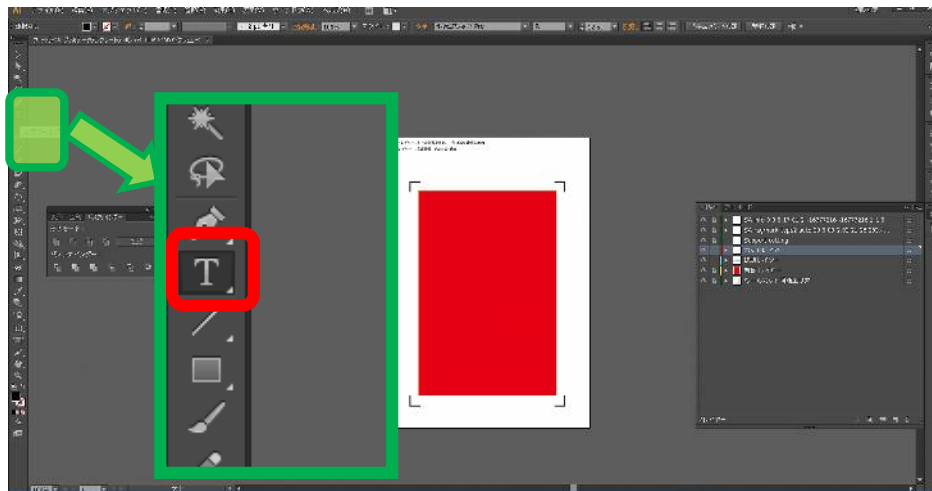


3) 文字（文字列）の作成

(1) オブジェクトの作成

①文字ツールの選択

ツールより「文字ツール」を選択します。

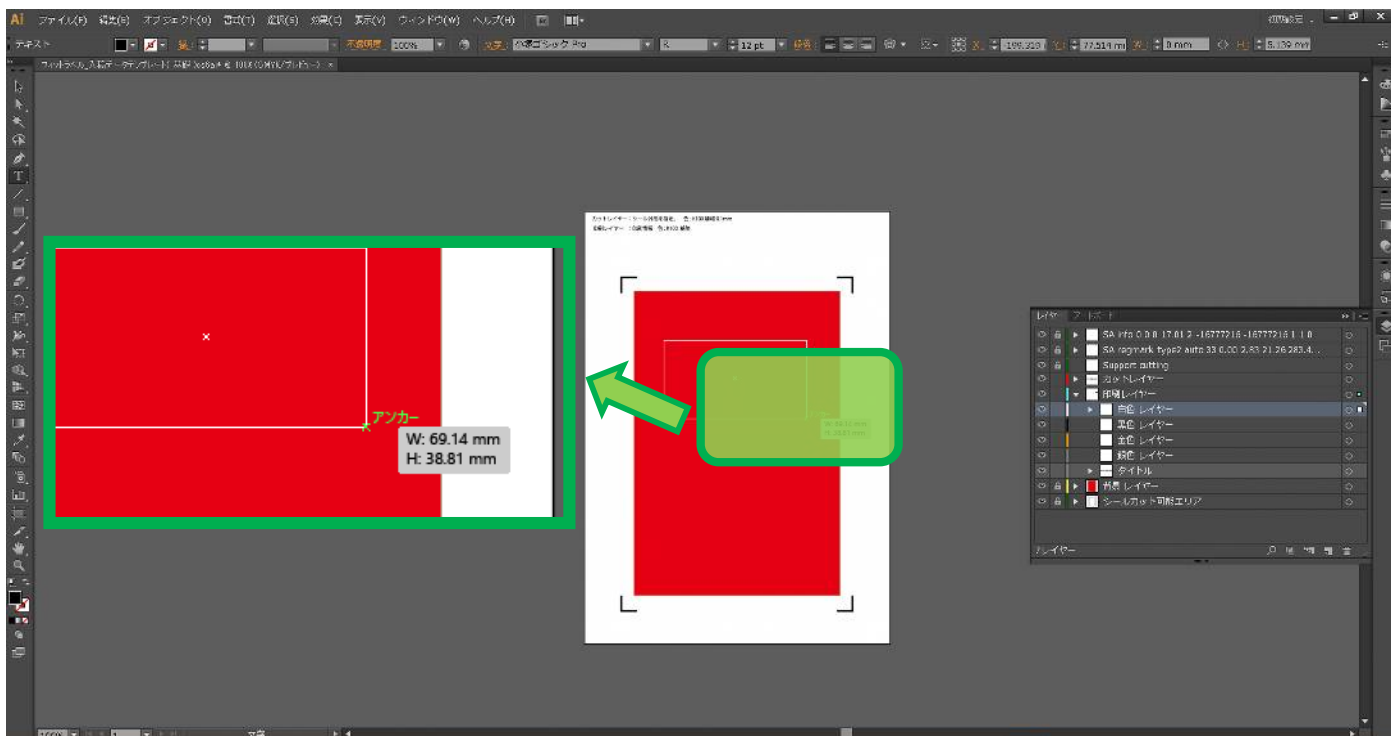


②位置の選択

文字を描画したい位置を D&D (ドラッグ アンド ドロップ) で選択します。

細かい位置などは、後で修正できますので、領域の左上を意識して、少し大きめに選択する事をお奨めします。

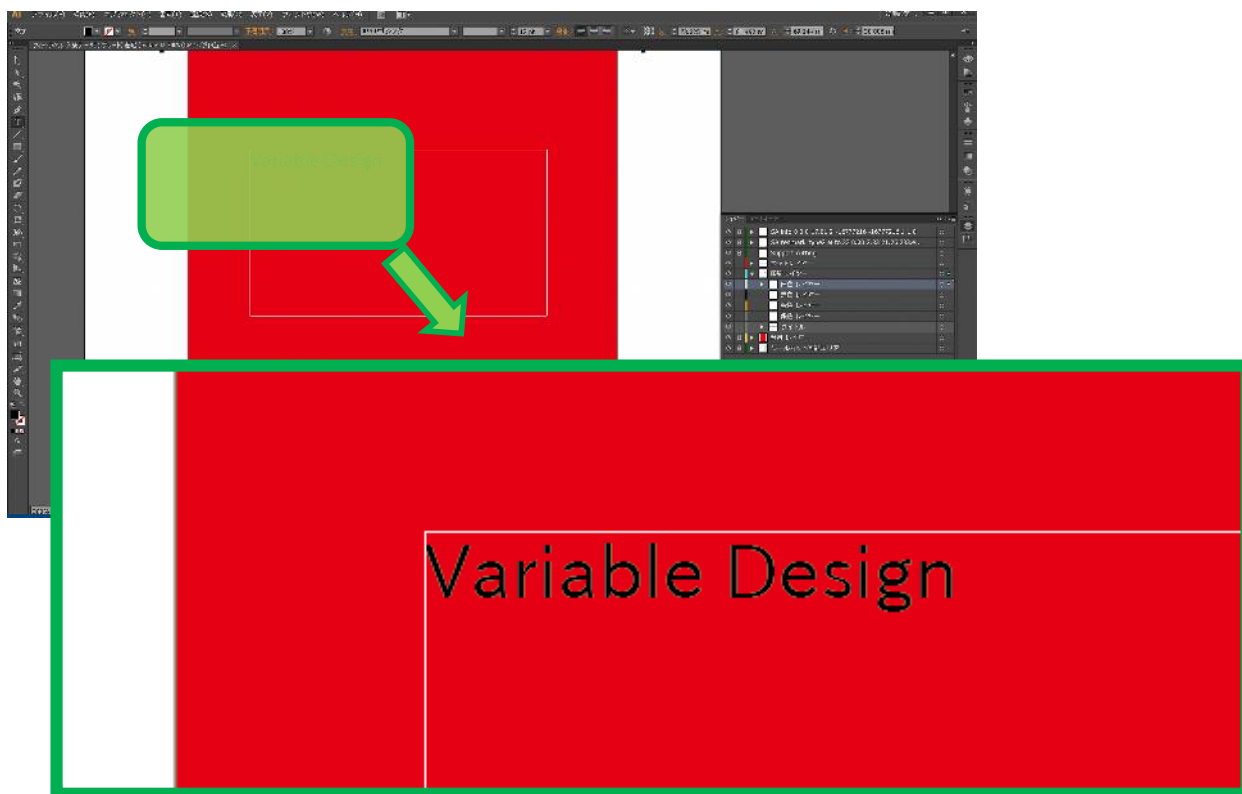
※参考：ドロップ時に、位置と大きさが表示されます。



③文字列の入力

作成したい文字列を入力します。

※図では「Variable Design」を入力しています。また、画面の倍率を 300%、作業領域を調整しています。



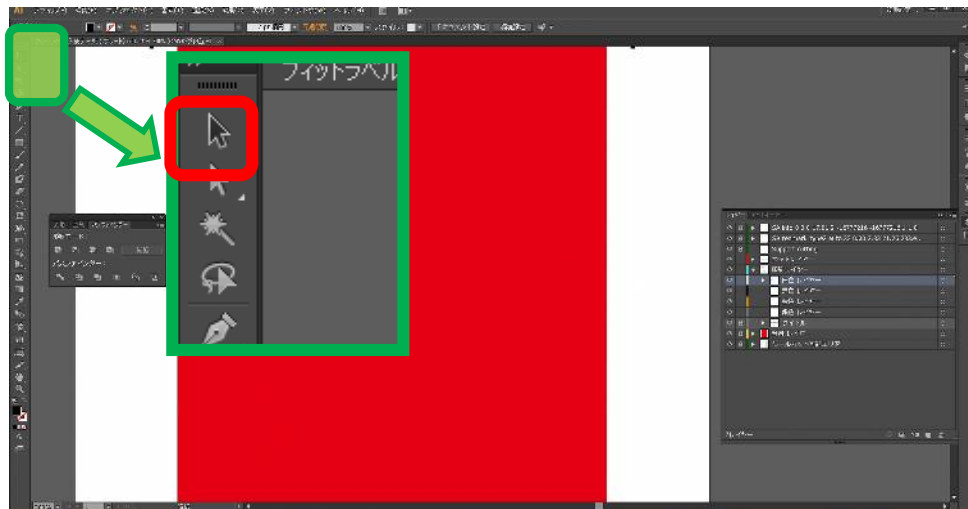
そのまま、作業を続ける場合、次項「i.オブジェクトの選択」作業は不要です。

(2) オブジェクトの修正

i. オブジェクトの選択

① 選択ツールの選択

画面右メニューから「選択ツール」を選択します。



② オブジェクトの選択

マウスカursorを文字列に当てると、下線もしくは枠線が表示されます。

その状態でクリックすると、オブジェクトが選択されます。

ii. 位置の変更

オブジェクトを選択した状態で、ドラッグします。

iii. 文字列の変更

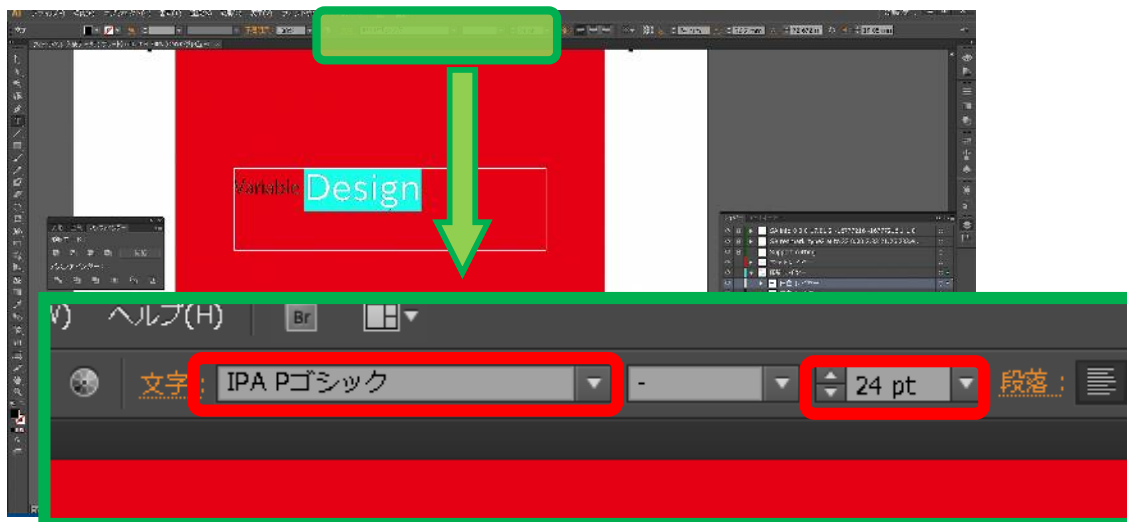
文字列をダブルクリックすると、キャレット(文字列編集用カーソル、縦線)が表示させます。

ワードプロセッサの様に修正ができます。

iv. 属性の変更

変更したい部分を選択し、フォントセット、フォントスタイル、フォントサイズを変更します。

※ 「Design」 を選択し、フォントセットを「IPA Pゴシック」フォントサイズを「24pt」



左がフォント名

※著作権にご注意ください

中がフォントスタイル ※対応しているフォントのみ
右がフォントサイズ
になります。

v.濃度の調整

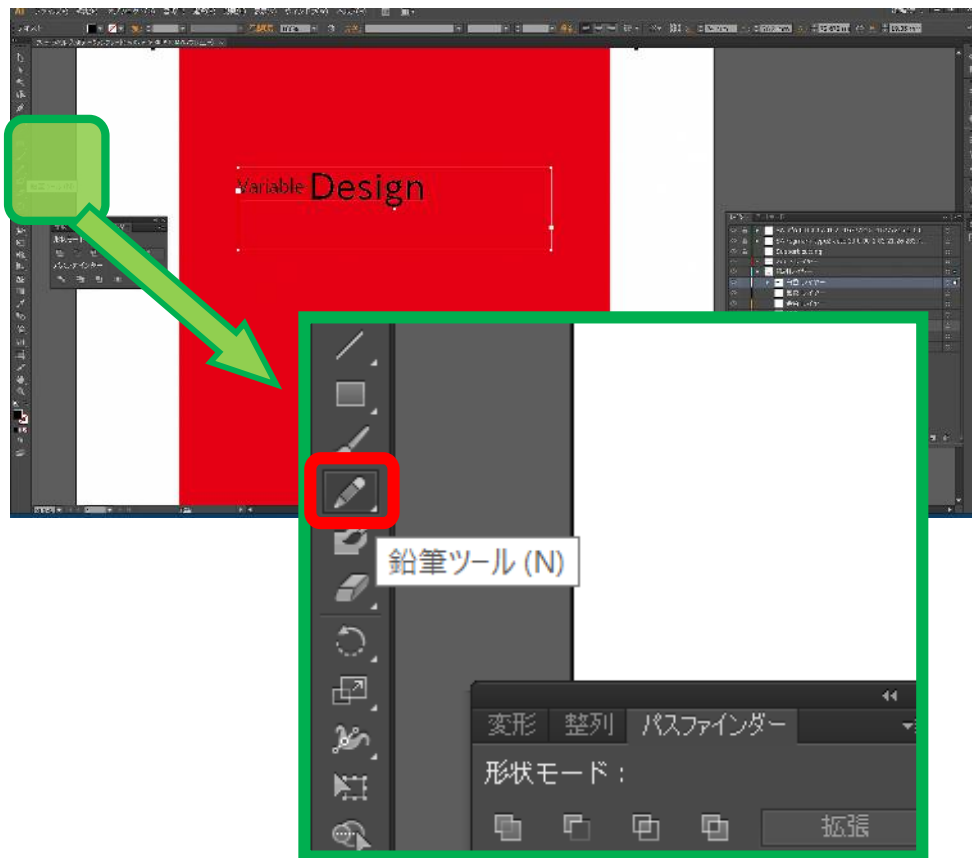
印刷調の場合、濃度の調整も可能です。「5）共通の編集」を参照してください。

4) 図形の作成

(1) オブジェクトの作成

①各ツールの選択

イラストレーターにて、図形を描くツールは複数あります。
ここでは、「鉛筆ツール」を利用して、図形を描画します。

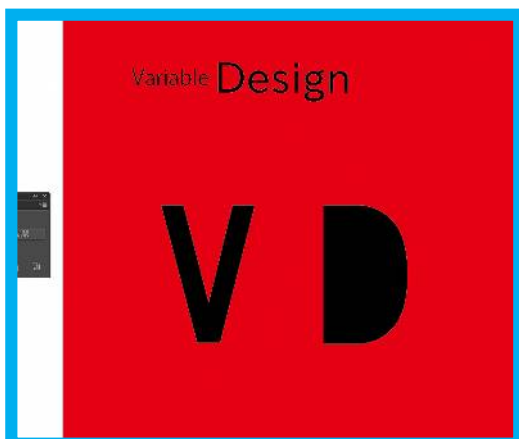


②ラインの引き方

マウス（ペインタブ推奨）でドラッグします。ドラッグの軌跡が線になります。
色を塗るときに、その図形は閉じている（水を入れても溢れない容器のイメージ必要があります）。
閉じた図形の描画の方法です。

- ・ドラッグの開始をします。
- ・開始後、Alt キー (Windows) / Option キー (MacOS) を押し続けます。
- ・始点と最後の直線で結ぶ場合、ドラッグを止めます（マウスのボタンを離す）。
- ・Alt キー (Windows) / Option キー (MacOS) を離します。

図は、枠線を完成させたイメージです。



(2) 図形の中抜き

べた塗の場合、裏地を見せる事ができません。裏地を見せるために、中抜きを行います。

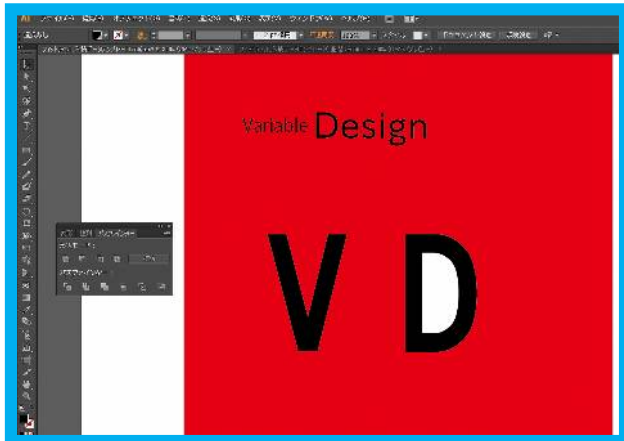
手順として、

- ・中抜きする部分のパスを作成 (②を参照)、図では説明の為、白で塗りつぶしてあります。
- ・パスの合成で、該当部分を別のパスに分離します。
- ・中抜きするパスを削除します。

①中抜きするパスの作成

- ・「(1) オブジェクトの作成」に倣い、中抜きするパスを作成します

※中抜きするパスは、説明の為、白塗りしてあります。

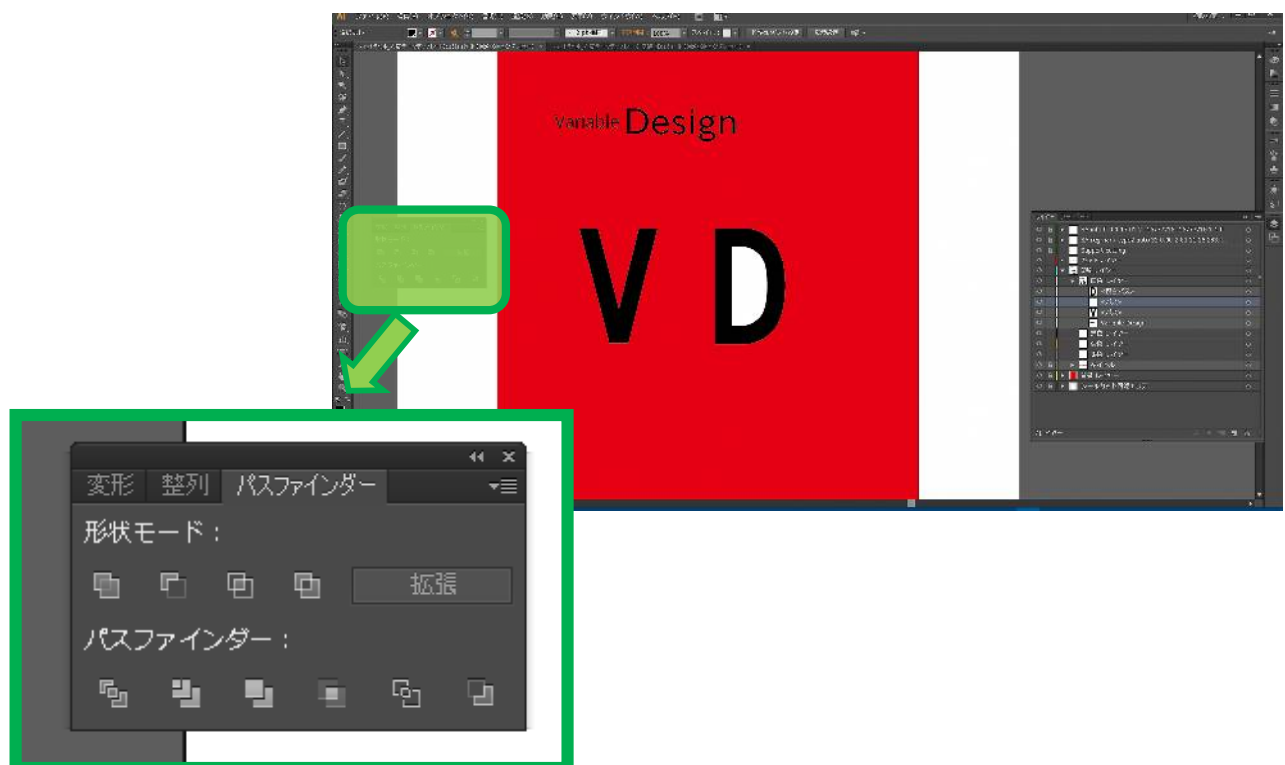


②パスファインダーの表示

「パスファインダーパネル」が表示されていない場合、以下の方法で表示させます。

[ウィンドウ] メニュー => [パスファインダー] を選択します。

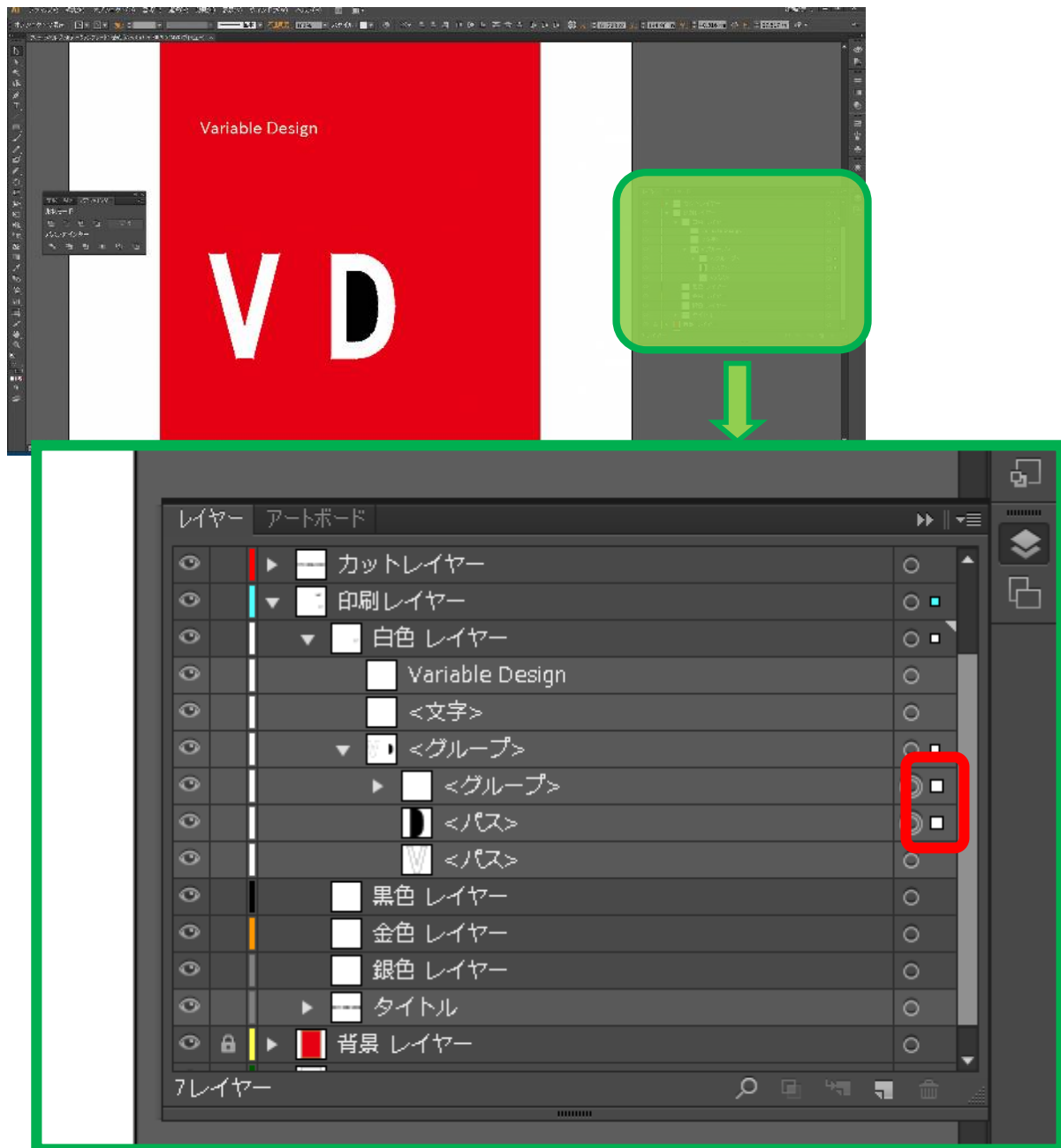
※ [Ctrl] と [Shift] を押しながら [F9] キーでも代用可能です。



③パスの選択

下地のパスと中抜きするパスを両方選択します。「レイヤーパネル」からの選択をお奨めします。

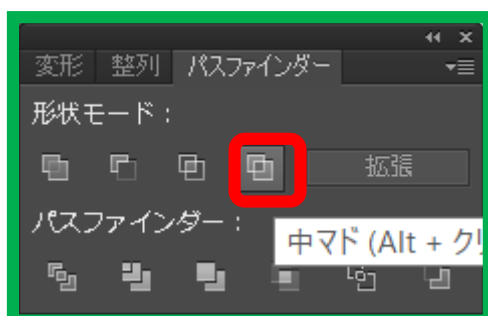
※ 1つのパスを選択し、[Shift]キーを押しながら、もう一つのパスをクリックします。



④パスの合成

「パスファインダーパネル」の [中マド] ボタンをクリックします。

これで、パスの分離ができました。

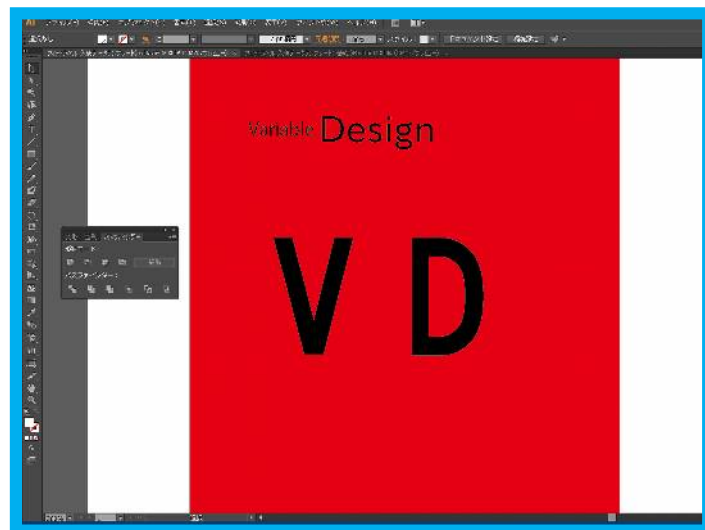
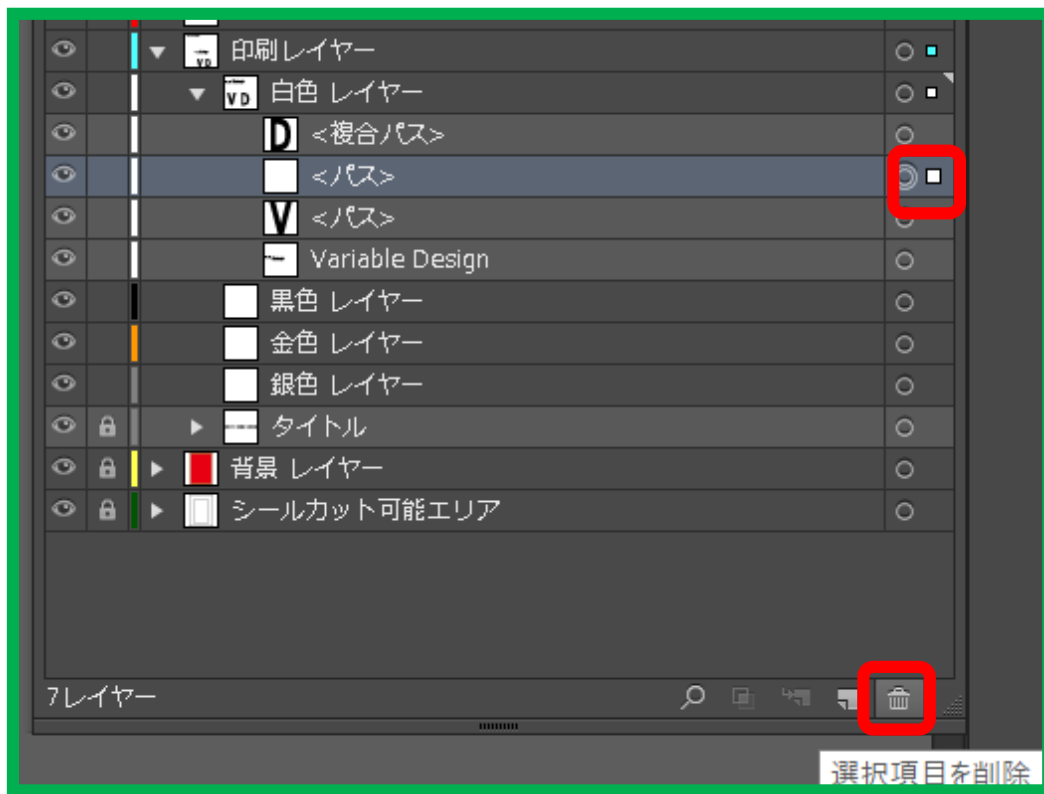


⑤中抜けするパスの削除

切り離れた黒いパスの右側の空白を選択します。

一番下の[ゴミ箱]アイコンをクリックします。

切り抜いたパスで、後ろが背景色(この手順書では赤色)になっていれば成功です



5) 共通の編集

i.濃度の調整

「印刷調」の場合、不透明度を下げる事により、印刷の粗さ（地が見える領域）が大きくなる事ができます。グラデーションなどの設定は使用しないでください。データ変換時にベタに変換されます。不透明度は 100～30%で指定してください。

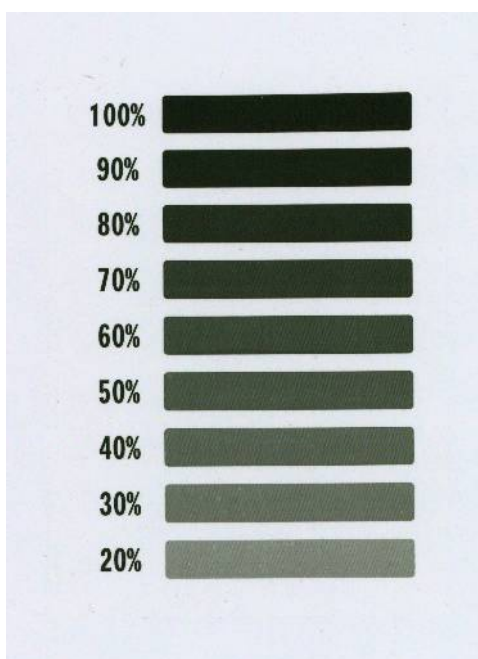
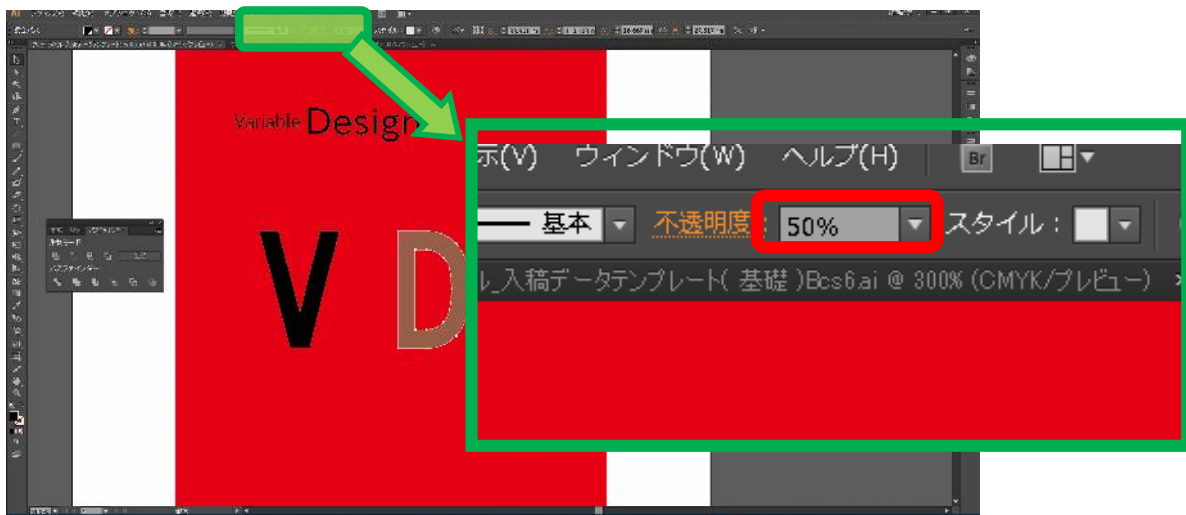
*「箔押」は利用できません。値が100%でない場合、印刷が失敗する可能性があります。

①オブジェクトの選択

[選択ツール] 画面右メニュー か [レイヤーパネル] から対象のオブジェクトを選択します。

②濃度の変更

メニュー下部にある、[不透明度] を変更します。100%が塗りつぶし、0%が印刷されず、です。おおまかな目安は、その下の図を参考にして下さい。



6) 印刷レイヤーの確定

(1) バックアップの作成

レイヤーを確定する前に、必ずバックアップ（別名で保存）してください。
確定作業を行うと、再編集が困難になる可能性があります。

(2) 目視確認

i.レイヤーごとの確認

<<注意事項>>

単色印刷の商品は、テンプレート自体が単色（購入した1色）のみのファイルとなります。

- ・重ね印刷は対象外です。必ず、全てのレイヤーを表示した時に、隠れる部分がない事を確認してください。

印刷レイヤーの内、「白色」、「黒色」、「金色」、「銀色」を一旦非表示にします。

その後、「白色」などの各レイヤー毎に表示して、印刷面が正しいか、確認します。

ii.全レイヤーの確認

印刷レイヤーの内、「白色」、「黒色」、「金色」、「銀色」をすべて表示します。

重なりがない事を確認します。

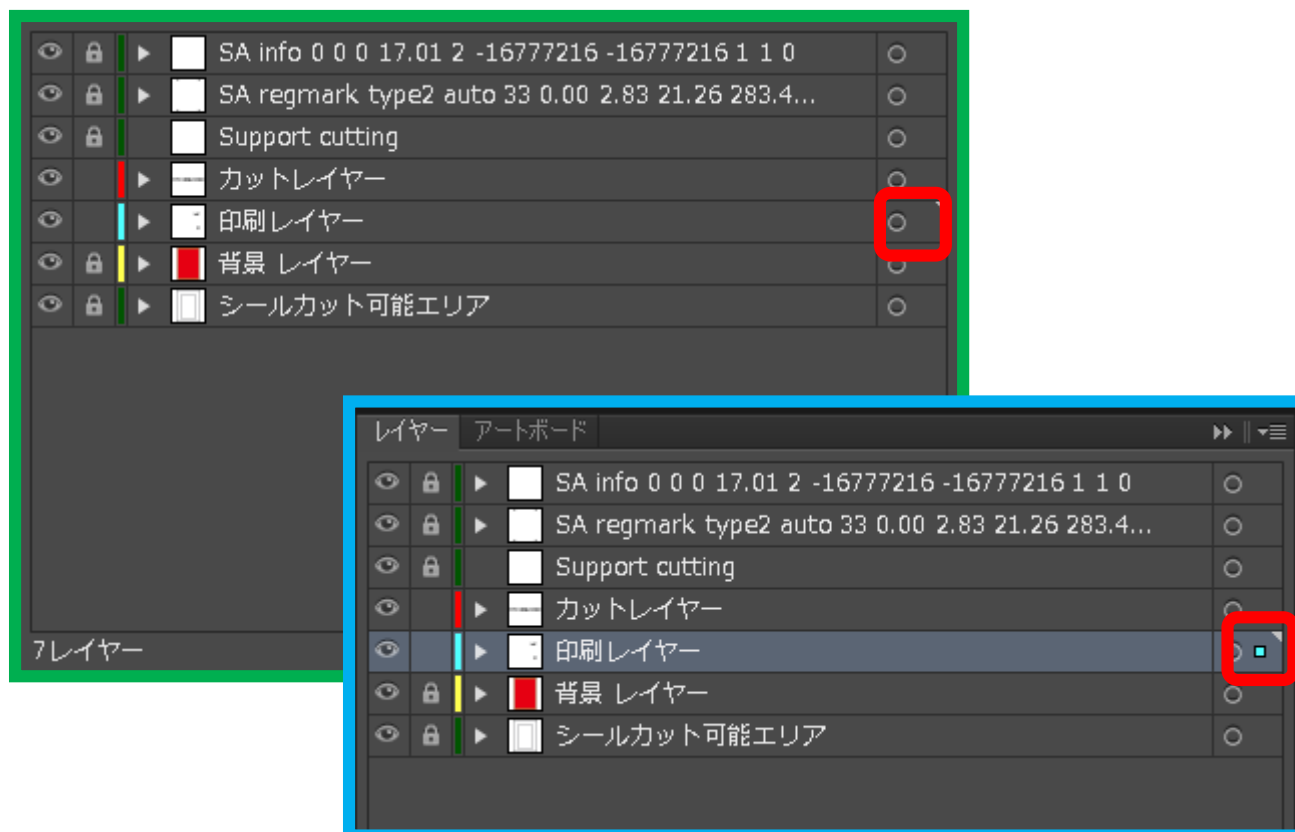
(3) 最終工程（アウトライン化、色の確定）

i.レイヤーの選択

印刷レイヤーを全選択します。

「レイヤーパネル」の印刷レイヤーの一番右にある空白をクリックします。

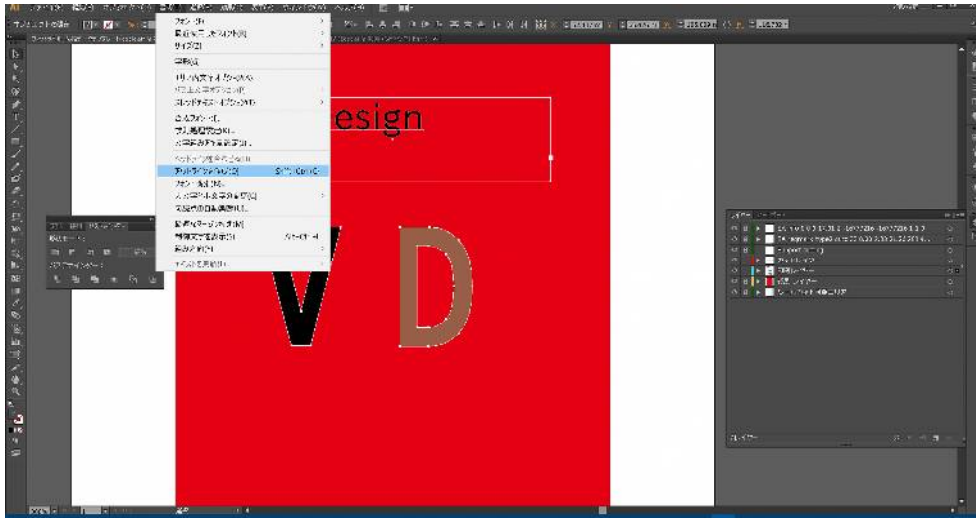
※「印刷レイヤー」の右側に、レイヤーカラーの印が付きます（この手順書ではシアン）



ii.レイヤーのアウトライン化

[書式]メニュー => [アウトライン表示]を実行します。

※ [Ctrl] と [Shift] を押しながら [O (オー)] キーでも代用可能です。

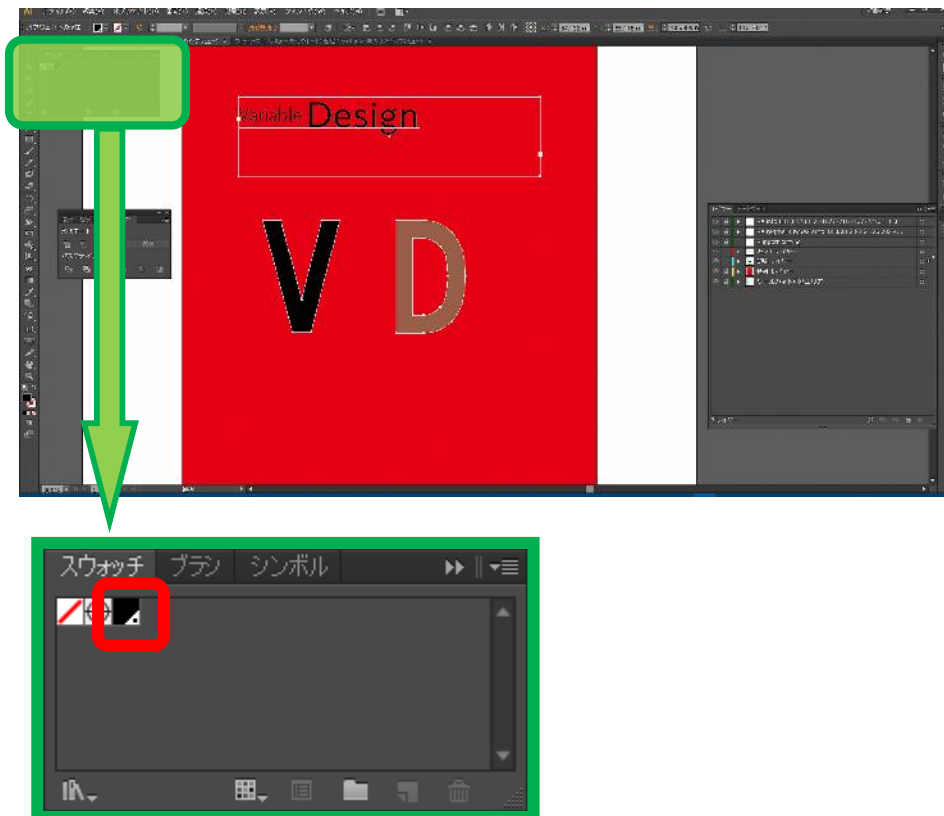


iii.オブジェクトを印刷色へ変更

まれに、異なる色が混じる場合があります。

念のため、色の変更を行います。

「スウォッチパネル」より[入稿色]を選択します。



5：カットレイヤーの編集

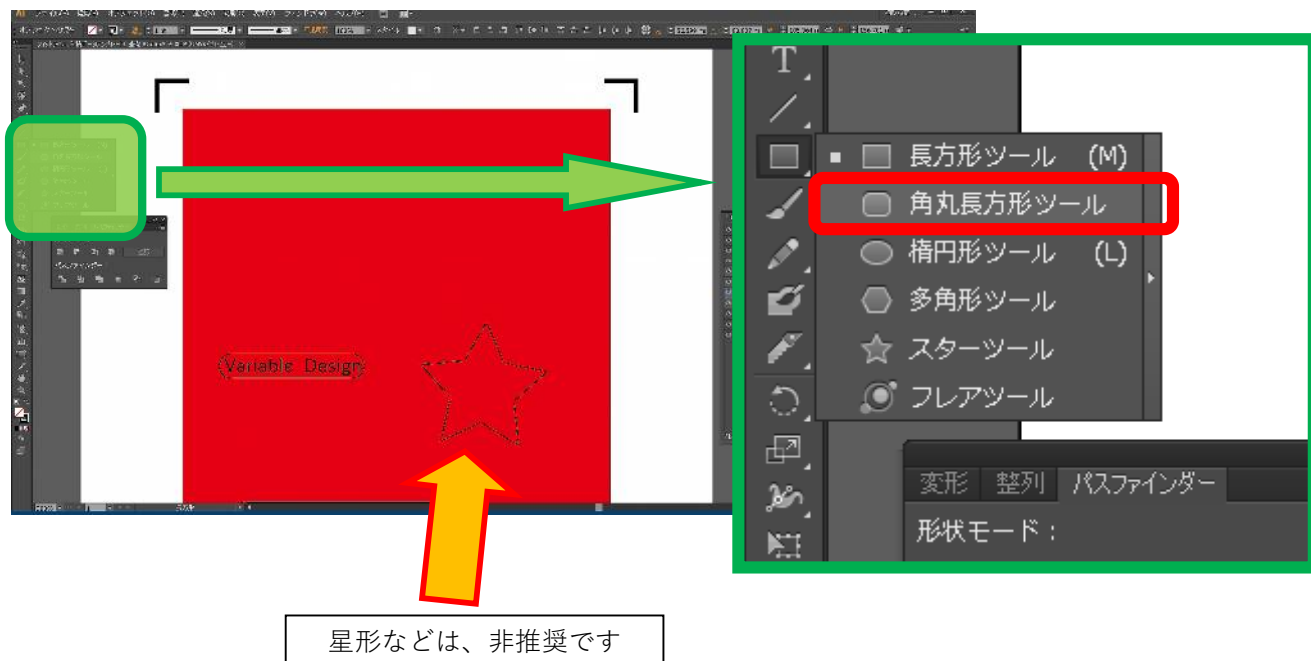
(1) カット領域の作成

シールにする、領域を作成します。

※角丸（角を付けない）処理を推奨します。角からラベルがめくれ、剥がれやすくなる可能性が高いです。

四角形の場合、角丸四角を推奨します。星型の様な形は非推奨です。

※図は、説明の為一旦色を抜いてあります。操作によっては、塗り唾されている可能性があります。



(2) カットパスの設定

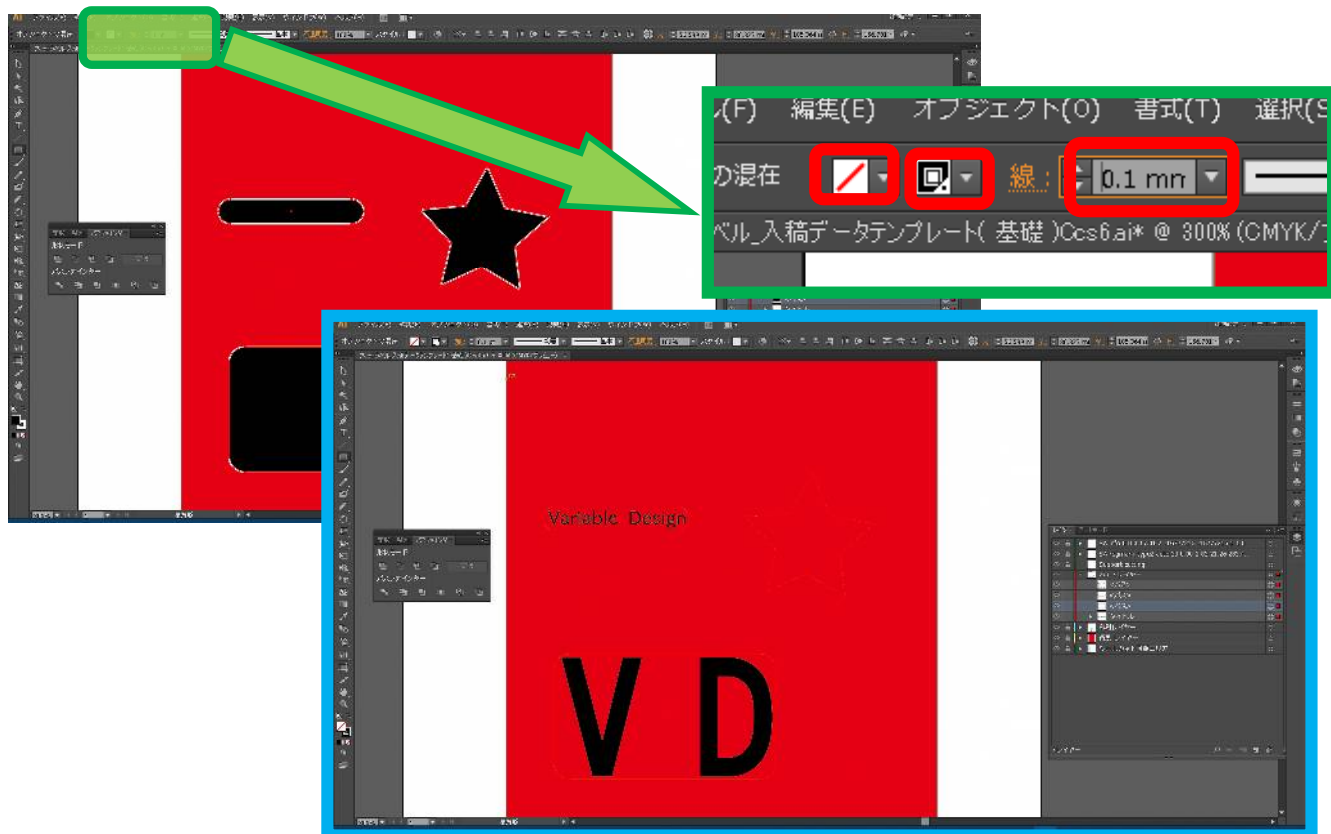
塗りを「透明」

枠線を「入稿色」

太さを「0.1 mm」（バージョンにより確定後、0.2835 に変更される場合があります）

に設定します。

同じサイズのシールを連続して作る際は、シールを連続して配置することが可能です。



6：入稿方法

投稿フォームより、投稿ください。

チェック後、問題が無ければ決済用フォームを連絡いたします。

入金確認後、製作を開始します。